

校長ニューズレター（第1号・4月号） 宜野湾市立長田小学校校長：横山芳春



1000の子どもに1000の未来 ～すべての子どもの可能性を開きのばす～

はじめまして。新校長になりました横山芳春です。わたしは平成15年度に沖縄県初の民間人等出身校長候補になり、その年の10月から16年3月いっぱいまで、県総合教育センターで校長研修を受けました。そのさい長田小学校が、受け入れ小学校になり、当時の校長・普天間朝光先生はじめ、おおくの関係者からたくさんのかんことを学びました。

今年の3月に長田小学校への転勤の内示が出ました。そのとき前任校に戻るような気持ちになりました。わたしにとって、とてもいい印象を長田小が残してくれていたからです。

長田小学校に赴任して、20日ほどすぎました。子どもたちは素直で明るく、先生たちは子ども好きで前向きな方ばかりです。これまで数回PTA会長さんたちとお話をし、理事会にも出席しました。保護者の方々も、穏やかで子どもたちの成長を願って活動されていることが、よくわかりました。

さて、わたしの教育理念をひとことで申し上げます。『1000の子どもに1000の未来～すべての子どもの可能性を開きのばす～』です。言うまでもなく、学校は、子どもたちの人格や体力を育て、学力形成をおこなうところです。また、本校は公立学校です。すべての子どもたちの可能性を開きのばすことが、使命であると思います。

では、何をもちって子どもたちの可能性を開いていくのでしょうか。当たり前のことですが、学校の一番の仕事は授業です。学校は授業に始まり授業で終わります。授業の質が、子どもの成長に直結してまいります。

このような考えが根底にあって、教育公務員には研修を行うことがどの組織員よりも多く課せられていると思います。

長田小学校では、4月17日の職員会議で校内研修の計画を決定しました。なお、本校は平成20年度と21年度の2カ年間、宜野湾市の指定研究校に認定されています。研究テーマは、「伝え合う力を高め、豊かな心の育成へ～地域連携による効果的な学習活動を通して～」でした。したがって、本年度の研修は、指定研究を軸にして校内研修が実践されます。

その計画内容を紹介します。

指定研発表会（12月24日）では、1年、4年、5年生が伝え合う力を高める表現活動を公開。2年生が生活科、3年生が総合的な学習、6年生が国語の授業を公開します。校内研修では、先生たちの学び合いはもちろんのこと、授業研究の専門家を招聘して研修を行います。招請する先生方は、県内の校長OB、県外の実践的な授業研究者（大学教授や元教師など）です。

さて、学校は授業で子どもたちを育てるところです。授業を何よりも大切にしたい学校づくりをおこなってまいります。これは、5年前に民間人等校長の第1号として本採用されて校長になったときから、一貫して実践してきたことです。何よりもまず授業を優先してまいります。そしてこの前提に、子どもを中心に行動します。学校の行動や決定は、子どもを第1に考えて行います。保護者・地域の方々、子どもの成長を目的に、ぜひご理解と協力をお願いします。